

【学校評価委員会】

令和元年度 学校評価アンケートの集計結果

【回答者】

三田市立狭間中学校

生徒1年 122名 2年 98名 3年 122名 計342／370名 教職員 23名

保護1年 109名 2年 89名 3年 62名 計260／341名 ※保護者は、家庭数として計上

【回答方法】 4段階

A. そう思う B. ややそう思う C. ややそう思わない D. そう思わない

【項目毎の結果】

1. 学校は、通信などで、学校や生徒の様子をわかりやすく伝えている

%	A	B	C	D
生徒	54.3	40.2	4.9	0.5
保護者	40.9	50.0	7.5	1.7
教職員	60.9	34.8	4.3	0.0

〈保護者の意見〉

学校のホームページの更新があまりなされておらず、残念である。

◇学校通信やホームページへの関心が高いことがわかりました。今まで以上に、教育活動を個人情報に留意しながら掲載するとともに、学校便り等をホームページに掲載し、更新回数を増やすよう努めます。また、学校便り等につきましては発行日をメールにて配信する予定です。

2. 授業参観や行事など、学校を開放して生徒の様子を見る機会を設けている

%	A	B	C	D
生徒	68.4	28.8	1.9	0.9
保護者	69.2	29.9	0.3	0.5
教職員	82.6	17.4	0.0	0.0

〈保護者の意見〉

小学校の音楽会とオープンスクールが重なる等、小中が連携して行事が重複しないようにしてほしい。

◇校区の小学校とは学校行事の開催について、連絡調整を行い重複しないように努めていますが、どうしても調整のつかない行事もあります。今後も、年間行事を計画する際には連絡調整に努めます。

3. 先生は、教え方を工夫してわかりやすい授業を行っている

%	A	B	C	D
生徒	50.5	42.2	5.9	1.4
保護者	13.6	63.7	20.4	2.4
教職員	30.4	65.2	4.3	0.0

〈生徒・保護者の意見〉

子どもの主体性を活かした授業に取り組む教師がいる一方、説明中心の授業も見受ける。多忙だとは思いますが、主体的・対話的で深い学びをめざした授業を願う。

◇授業の創意工夫を望む声が高いことがわかりました。引き続き教え方に工夫を凝らし、分かり易い授業に努めます。また、来年度も授業研究テーマを「主体的・対話的で深い学びをめざした授業づくり(仮題)」とし、引き続き研究を推進していきます。

4. 学校は、基礎学力の定着に向けた取り組みを行っている

%	A	B	C	D
生徒	49.5	44.9	5.1	0.6
保護者	13.7	60.0	22.9	3.4
教職員	39.1	47.8	13.0	0.0

〈保護者の意見〉

勉強についていけない生徒への学習指導を充実してほしい。

◇基礎学力の定着を望む声が高いことがわかりました。来年度に向けて、現在行っている朝の読書活動の在り方を見直すなどし、基礎学力の定着に向けた取り組みを考えているところです。

5. 学校は、命の大切さや思いやりの心など、豊かな心を育てようとしている

%	A	B	C	D
生徒	57.3	36.6	5.5	0.6
保護者	19.2	65.8	13.7	1.2
教職員	52.2	39.1	8.7	0.0

該当意見なし

◇本校は「人間尊重」を基盤とし、生徒の人権が尊重される学校づくりを目指しています。授業だけでなく、学級活動や学校行事などの学校生活全般において、人と人の関わりを通して豊かな心を育てていきたいと考えています。

6. 生徒は規律正しく、落ち着いた学校生活を送っている

%	A	B	C	D
生徒	33.8	50.4	12.4	3.4
保護者	32.0	55.2	11.9	0.9
教職員	27.3	59.1	13.6	0.0

〈生徒の意見〉

校則の見直しをして欲しい。

◇校則は、規律正しい学校生活を維持するために必要ですが、時代の変化に応じて見直しも必要だと考えます。生徒指導委員会で検討し、見直せる校則については生徒の意見も聞きながら見直しを行います。

7. 先生は、生徒のことをよく理解して、適時・適切に指導している

%	A	B	C	D
生徒	44.5	42.9	9.7	2.9
保護者	19.7	57.6	20.8	1.9
教職員	39.1	56.5	4.3	0.0

〈保護者の意見〉

子ども達は、弱者ではなくこれから未来へ向かっていく発展途上であるということを肝に銘じて、心のこもった温かい言葉がけをお願いしたい。日々大変だが、よろしくお願いします。

◇保護者からは、「教師の言動についてどうかと思う」等の意見もいただいています。信頼される学校づくりには保護者の理解と協力が不可欠です。教師自身が自らの言動を戒め、真摯に受け止め生徒理解に努めていきます。

8. いじめや暴力がなく、生徒は安心して学校生活を送っている□

%	A	B	C	D
生徒	61.2	33.8	3.8	1.2
保護者	24.8	50.4	23.1	1.7
教職員	4.3	73.9	17.4	4.3

〈生徒の意見〉

いじめについて、教師はわかっているが、生徒にはわかるものもある。

◇学校は多くの生徒が生活しており、その複雑な人間関係の中で必ず摩擦が生じます。“いじめ”はいつでもどこでも誰にでも起こる問題として捉え、日々の生徒との関わりを通してだけでなく、「生活アンケート」や「教育相談週間」等、あらゆる手段で問題の早期発見に努めます。問題解決に向けては、機会を逸することなく適時・適切に指導し、その後も継続して見守っていきます。

9. 生徒の個性を大切にして、生徒一人ひとりに活躍の機会と場がある

%	A	B	C	D
生徒	48.5	39.6	10.2	1.7
保護者	18.3	56.3	23.0	2.5
教職員	26.1	56.5	17.4	0.0

〈保護者の意見〉

個性を大切にして、一人ひとりに活躍の場というが、活躍できる機会があまりない。

◇教育活動全般において生徒の個性を尊重し自尊感情を感じさせる取り組みが重要であることは言うまでもありません。今後も学校行事や特別活動等の機会を通して「みんなから認められ共感され、大切にされている」という思いをもたせる活動を大切にしていきます。

#### 10. 教育活動や学校行事などの時期や内容は、適切である

%	A	B	C	D
生徒	63.5	32.0	4.2	0.3
保護者	33.4	56.8	7.9	1.9
教職員	21.7	47.8	30.4	0.0

〈保護者の意見〉

中間・期末考査の時期が周辺学校と違う。周辺学校とも歩調を合わせて実施できないものか。

◇入学式・卒業式や体育大会・文化祭など、市内で同日に実施している行事もありますが、大部分の行事は各校にて学校運営が適切に行えるよう年間計画を立てて適宜実施していますのでご理解ください。また、保護者より「PTA活動の簡素化」を望む意見も寄せられていましたので、本部役員の皆様にお伝えしています。

#### 11. 生徒の部活動は、楽しく充実している

%	A	B	C	D
生徒	59.6	32.1	6.3	2.1
保護者	31.1	46.5	16.6	5.7
教職員	34.8	60.9	4.3	0.0

〈保護者の意見〉

部活動顧問と生徒の信頼関係を大切にして欲しい。下手で練習試合にすら出られない生徒の気持ちを大切にしたい指導をお願いします。

◇部活動に関する保護者の意見を数多くいただきました。特に教師の厳しく指導する本意が生徒には十分届かず、「意見の押し付け」になっている等の指摘をいただいています。真摯に受け止めて今後の指導に当たっていきます。また、部活動の活性化を求める意見もいただいています。部活動の在り方が変わり、練習時間が制限されていますので練習内容に工夫を凝らし活動の充実をめめます。

#### 12. 学校は、安全指導や健康管理に努め、安全で安心した学校生活が送れている

%	A	B	C	D
生徒	63.3	29.9	5.8	0.9
保護者	34.6	56.6	8.2	0.5
教職員	47.8	47.8	4.3	0.0

〈保護者の意見〉

カッターナイフを持った不審者が出た翌日から小学校及びボランティアの見守りはあったが、中学校では無かったようで、安全管理に不安を覚えた。

◇本校では、生徒の安全・安心を第一に考え学校運営を行っているところです。不審者対応につきましては、校区の小学校や関係機関とも連携して毎回見廻り等を適切に実施しています。今後も、子どもの発達段階を考慮しながら迅速かつ適切な対応に努めたいと考えています。

#### 13. 施設・設備の整備や環境美化に努めていて、快適な学校生活が送れている

%	A	B	C	D
生徒	56.8	38.1	4.4	0.7
保護者	38.1	56.2	4.6	1.1
教職員	34.8	56.5	8.7	0.0

〈生徒の意見〉

グラウンドの周辺に木が繁っており、ボールが拾いにくいので刈って欲しい。部室にスノコを置いて欲しい。

◇施設、設備の整備、環境美化については学校配当予算との関連がありますが、予算だてを行い快適な環境の整備に努めます。また、本校では毎月1回、施設・設備の安全点検を行い適宜施設の安全管理にも努めています。なお、廃品を回収するリサイクルボックス常設の提案がありました。設置場所等の関係で困難であることを申し添えます。

14. 生徒は、楽しく充実した学校生活を送っている

%	A	B	C	D
生徒	57.4	34.8	5.8	2.1
保護者	30.4	57.8	10.5	1.2
教職員	21.7	73.9	4.3	0.0

〈保護者の意見〉

欠席者への連絡が子どもの負担になっている。毎日のことなので学校側の配慮を願いたい。

◇生徒が、楽しく充実した学校生活を送れるようにすることは重要です。「A」と「B」を合わせた割合をみると全体的には概ね良好と捉えられますが、個々の生徒を見てみると課題もあります。学校生活を「楽しく充実している」と感じていない生徒に、今後も寄り添い関わっていきます。

15. 学校の教育活動は、全体的に見て満足できる状態である

%	A	B	C	D
生徒	49.4	40.0	9.6	1.0
保護者	22.1	61.4	13.6	2.9
教職員	30.4	65.2	4.3	0.0

〈保護者の意見〉

個人のことを連帯責任と称する考え方はモラハラ等に該当する行為であると考えている。また、感情的な言動も控えて欲しい。

◇教職員の言動が子どもに与える影響は多大です。そのことを肝に銘じ、自らの言動を振り返りながら一層の生徒理解に努め、保護者の皆様と連携しながら個々の生徒の特性に応じた指導を行っていきたいと考えます。ご協力をお願いいたします。

その他の意見として

教職員からは業務改善及び勤務時間の適正化を求める意見がありました。教職員の多忙化を解消することは、生徒に向き合う時間が増えることに通じます。また、教職員自身が生き生きとした姿で生徒たちの前に立つことが、生徒の健やかな育成にもつながっていきます。来年度に向けて勤務時間の適正化等にも積極的に取り組んでいきますので、何卒ご理解・ご協力をお願いいたします。

\*「アンケート」を通しての貴重な意見は、全教職員で共有するとともに、学校運営の改善に活かしていきます。。